

平成 29 年度 橿原市環境審議会会議録

日 時 : 平成 30 年 2 月 15 日 (木) 午後 2 時 00 分～3 時 30 分

場 所 : 橿原市役所北館 2 階 大会議室

出席委員 : 久委員、遊津委員、西村委員、上田委員、小西委員、米田委員、梅本委員、
諫原委員

欠席委員 : 槇村委員、森本委員

事務局 : 森寫部長

井上課長、妹尾課長補佐、広瀬課長補佐、浅田係長、大塚主査 (環境衛生課)

昆虫館 : 木村館長、野川主事

傍聴人 : なし

議 題 : 橿原市環境総合計画について

【事務局：司会】

本日の司会進行を努めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

橿原市環境総合計画の策定以降、平成 25 年度から平成 28 年度までに、この環境審議会で委員の方々に進捗状況を報告し、ご意見をいただきました。その都度ご足労をかけておりますところ です。今回もよろしくお願いいたします。

本日、森本委員が所用のため、槇村委員が風邪をひかれたため、欠席とご連絡いただいておりますので報告いたします。2 名欠席でございますが、橿原市環境審議会規則により、本審議会が成立することをご報告いたします。

本審議会は平成 28 年度実施分の施策に対する評価をしていただく場となっており、本来であれば年度当初に開催すべきところをこのような時期となってしまったことをお詫び申し上げます。

開催にあたりまして、お手元に置いております資料の確認をして頂きたいと思います。

(資料の確認)

開会の前に皆様にご承認いただきたいのですが、当審議会の議事録作成のため IC レコーダーにて録音させていただいております。また、情報公開の原則によりまして、傍聴の自由を認めていることが通例となっております。本日のご案内の際にもお断りさせていただいておりますが、「橿原市審議会等の設置及び運営並びに会議の公開に関する要綱」により、審議会の開催を市ホームページにおいて周知し、希望者の傍聴を認めております。

なお、個人に関する情報や、法人その他の団体で個人の競争上の地位、財産権その他正当な利益を害する恐れのある場合、率直な意見交換もしくは意思決定の中立性が損なわれる恐れのある場合は、皆様方に諮りまして非公開とする手続きをとりたいと思います。そのようなことをご了解願

いまして、進めて参りたいと思いますので、皆様よろしくお願いいたします。

また、記録用の写真を撮影させていただきたいと考えておりますので、あわせてご了承いただきたいと思います。

◎開会

【事務局：司会】

ただ今より、平成 29 年度樺原市環境審議会を開催させていただきます。
次第に従いまして議長の久会長に進行をお願いいたします。

【議長】

環境総合計画の進捗状況の確認としてお集まりいただいておりますが、いろいろご意見を賜ればと思います。よろしくお願いします。それでは、次第に沿いまして進めてまいりたいと思いますが、「樺原市環境総合計画について」と一つの議題ではありますが、内容的にはかなり多くなっておりますので、資料順にご意見をいただきたいと思います。それでは資料 1. 2. 3 の主要施策の取り組み状況について事務局から報告願います。

【事務局】

■基本目標を実現するための主要施策の取組状況について（資料 1・2・3）

【議長】

ありがとうございました。

ただいまのご報告につきまして、何かご質問ありますでしょうか。

【委員】

2015 年に環境審議会の委員にならせていただいて、そのときにも意見を言わせてもらいましたが、ユネスコを担当してしまして、世界遺産に向けていろいろと取り組んでいるところですが、市全体で盛り上がりが無い。評価を見ても D 評価に下がっている。市役所全体で熱が見えない。どういう風に取り組んでいるのかが見えてこない。専門家を呼んだシンポジウムなどを行なったようですが、専門家のお話は関心の強い方向けのように思います。子供連れで参加できるような熱を呼び起こすようなイベントの仕掛けを行なってもらいたい。歴史遺産の活用が進んでいないように見えます。

【事務局】

環境担当部署としては難しい部分ですが、環境総合計画の施策の一つとして、審議会からいただいたご意見を元に、私どもから関係課に対し働きかけを行なう必要があると考えます。

【議長】

環境総合計画の中に歴史文化というものも入っている訳です。市民は動いているので、その動きに乗ってもらいたいというお話だと思いますので、積極的に担当課へ働きかけてください。

毎年、話が出ますが、D 評価のものの中で、協働で行なうものがかなりの割合を占めています。橿原市全体が環境だけではなく、協働という取組がベースにないのではないかと。そういう部分の表れではないかと思います。協働でどう進めるかを考えていただきたい。

継続事業で一杯になっていると報告がありましたが、継続事業の中でも協働でできるものもあるはず。市民の手に委ねることで市役所の仕事が減ることになりますので、市がやる仕事、市民に任せる仕事を整理し、うまく協働というものを活用してもらいたい。

【委員】

私、橿原市地球温暖化対策地域協議会の代表をしておりますが、協働はできていると思います。市役所側にも事務局として良く動いていただいています。エコフェスタでもしっかりと準備をしていただいたと思っています。8回9回と回数を重ねて啓発事業として市民に浸透しつつあります。私は良く頑張ってもらっていると思います。

【議長】

やっていないという訳では無いのですが、D 評価になっているものは協働で行なわないと動かないものが多く、頑張ってもらいたいということです。

【委員】

質問というより意見になりますが、一点目は、市民を巻き込んでというのはできている部分もありますが、県を巻き込む、例えば鳥獣被害などは一つの市町村では難しいので巻き込んでいただきたい。

奈良県では奈良モデルがうまく行っているので活用されるのが良い。

もう一点は温暖化対策関係ですが、資源循環という部分において橿原市は廃棄物発電を実施し、大きな効果があり、熱利用を含めてアピール性がありますのでもっとアピールされると良い。

斑鳩町では生ゴミなどを集めてガス化して発電等を行なっています。こういった事業は先進企業があるのでそういったところとタイアップする、そこに大学などを巻き込むということもやっていくと良い。そういう動きがあるので、ぜひ取り組んでいただきたい。

もう一点、観光関連でレンタル自転車利用というのがありますが、もっと自由度の高い、乗り捨てでは無いですが、いろんなところに置けるシェアリング自転車というのがあります。欧州の企業が行なっていて、流行っているものですが、日本の企業も始めています。自治体が自転車を購入して、管理してとなると、なかなか大変です。企業が行なうシェアリングは、自転車自体もハイテクな GPS など搭載したものを準備し、進んだことをやっています。橿原市は観光都市でもありますので、こういったものの活用を考えていただきたい。

【議長】

自転車利用について、明日香村は観光協会を中心に早い段階から進めており、生物多様性では広域で組んで行なっているので、広域でやっていくというのが一つのやり方かと思います。

【事務局】

委員よりご意見がありました、奈良県と協働するような事業ですが、奈良モデルという方向でという提案もございました。この点につきましては県と協議をしながら、奈良モデルに乗せていければと思います。ただ、予算を伴うものにつきましては、環境衛生課の担当施策が 50 以上ありまして、すべてを実施するのは難しい部分もあり、財政と協議をしながら進めて行きたいと考えます。

【議長】

先ほどからのご意見に共通しているのは、市あるいは環境衛生課単独の取組は進んでいると思いますが、他部署や県などとの協働であるとか、他者をうまく使う、活用するという観点で進めていくと良いということかと思います。

【事務局】

皆様から大変貴重なご意見をいただいております。生物多様性であれば、広域で連携していますが、それを我々、庁内で共通理解する必要があると思います。県の施設はいろいろありますが、こういったところと連携できていないのも事実でございます。連携をしていかなければいけませんし、委員様のご意見にもありましたように、歴史的遺産の活用が、学校ではユネスコなどを通じてやっただいていっているにもかかわらず、我々が知らないという状況で、我々が勉強しないといけないと思います。それぞれの連携を図っていくというのが、次の課題であるかと思いますので、ご意見をいただきますようお願いいたします。

【議長】

ありがとうございました。他いかがでしょうか。

昨年の審議会で諮っていただいた生物多様性の総合戦略ですが、今後はどのように進めますか。

【担当課】

生物多様性飛鳥地域戦略を策定しまして、今年度 8 月に生物多様性飛鳥地域保全活動推進協議会を立ち上げました。戦略にあがっている詳細な項目の検討というのは平成 30 年 2 月末に担当者部会でおこないます。

【担当課】

■平成 29 年度に実施した生物多様性地域戦略に関する内容の説明

【議長】

ありがとうございました。これから成果が出てくるよう期待しています。

他ございませんか。よろしいですか。

それでは次回には良い評価が出てくることを期待しまして、また、試行錯誤していただきたい
と思います。

それでは市民協働プロジェクトの報告をお願いします。

【事務局】

■市民協働プロジェクトの状況について説明

【議長】

かなり大事なプロジェクトばかりですが、皆様いかがでしょうか。

【委員】

エコウォーキングはどのくらいの参加者でしたか。

【事務局】

今年度は関係者含め 38 名でした。

【委員】

子供率は？

【事務局】

大人が多く、子どもはひとりでした。

【議長】

呼びかけ方の工夫でしょう。SNS を活用するとか。

【委員】

広報等では見て、実際にはなかなか参加できていないのですが、情報発信に工夫が必要ではない
でしょうか。無料であるとか、参加後には特典があるなどがわかれば、ご家族連れも SNS で
拡散しますので、情報発信できるよう考えていただきたい。

説明の中で学童クラブの出前講座というのがありましたが、何箇所くらいありましたか。

【事務局】

かしはらナピプラザにあります市民活動交流広場を通じて実施していきまして、15 のメニュー
のそれぞれの担当団体様に事務局から声かけさせていただいていまして、温暖化対策のメニュー

が人気のようです。28年度は8件くらい依頼がありました。

【議長】

広報の点で言いますと市役所だけではなく、各地域団体さん、市民団体さんもそうなのですが、「いつやります」という予告・告知はたくさんやっています。それだけではなく実は「報告」も大事です。「こういうことをしました。」「とても楽しかったです。」といった内容、それをする事で、見逃した人が行ってみたいという気になり、次につながります。そういう意味でレポートを載せておくことが重要です。特に来場者の「お声」を載せておくの良いと思いますので、工夫をしていただきたい。

【事務局】

エコフェスタなどのイベントではアンケートをとっていましたが、内部での報告で終わっていましたので、ホームページに載せるなどの方法を取りたいと思います。

【委員】

市民協働のウエイトと言いますか、地域協議会のメンバーが多い。私もメンバーの一員ですが、高齢化が進んでいます。来場者、スタッフとも若返りが必要で難しい状態ではありますが、よろしくお願いします。

【議長】

ちなみに、生駒市と近畿大学は連携協定を結んでいます。小学校の出前講座を学生が企画をして実施しました。うちは環境まちづくり専攻なので環境に関心の高い学生がたくさんいます。学生の中には橿原市民もいますので声かけしていただいたら、私からも話をしますので、参考にしてください。

【委員】

昨年のエコフェスタには学生にも手伝っていただきましたが、今年は授業と地域協議会の会議日程が合わなかったということもあり、時間調整がうまくできませんでした。私たちも高齢化というのは心配しているところですが、取れる時間の問題があり、60歳以上の方が中心となります。

【議長】

学生スタッフさんとの会議の日時などで工夫が必要かと思います。

市民協働プロジェクトはいろいろと進んでいますので、さらに質を高めていくためにご意見を賜りたいと思います。

それでは橿原市地球温暖化対策推進実行計画（第3次）案についてお願いします。

【事務局】

■ 橿原市地球温暖化対策推進実行計画（第3次）案について説明

【議長】

ご質問、ご意見等ございますでしょうか。

新庁舎が動いていますが CASBEE 認証は最高ランクになっているのでしょうか。

【事務局】

CASBEE 認証は S ランク相当となっています。

【議長】

この前、ダイキン工業の新しい建物の見学をしましたが、エネルギーの削減など最高ランクにやっていると聞きましたので、認証をとっているのであれば、PR されると良いかと思います。

【委員】

庁内の LED 化は難しいのですか。

防犯灯は LED に変わって明るくなっています。

私、中学校を回ってお手伝いしていますが、図書室の電球を先生がしょっちゅう交換されます。一つ切れると周辺が暗くなりますので、LED にならないのかと話をされていました。

【事務局】

教育分野の新年度予算はトイレが最優先になっています。夏が暑く、我々としては乗りたくは無いのですが、エアコンの導入を考えているようです。そこまで入れるとなると電圧が不足することになり、今より高電圧の設備に変更することとなります。環境の立場としては逆行する状況です。

【委員】

図書室だけなら、それほど変わらないのでは。

【事務局】

今は電源をどうするかというところを調査する段階です。

【委員】

図書室だけを先行することを考えれば？

【事務局】

そういう方法もあり、環境部局として発信できますが、教育部局としての優先順位があるというところをご報告いたします。

【委員】

これから新築する際には環境面の配慮を必ず行なうなどの条例を作っていたいただきたいところですが、2030年に2013年度比26%の温室効果ガス削減だけでなくその後2050年の80%減さらにはゼロという目標があり、やらなければならないので、後になるほど大変になっていきます。そういうことから条例化をお願いしたい。

環境総合計画には市域全体が含まれていますが、今回の庁内のものとはリンクしないのですか。

【事務局】

上位計画となります、橿原市第3次総合計画が2年延長されました。そのため、区域施策編を含んだ環境総合計画の見直しも2年延長することとしました。事務事業編は自治体による策定義務があることで、事務事業編が先行する形になりました。

【委員】

他の市町村でも同じこと言わせてもらっていますが、目標となる数値は大変厳しいので、後になるほど厳しさが増していきますから、未来の子供たちにそのツケを回さないよう発信してやっていくべきだと思います。

【議長】

他ございますか。よろしいですか。

参考に、フリーアドレスといいまして、近畿大学では個人の机をなくしました。授業中、自分の好きなところに座るようにしました。そうすると個人の書類が置けなくなります。共有ファイルシステムに半ば強制的に変えていくことになりました。さらに、決裁も電子決済になっています。そうすると紙ベースの書類がほとんどなくなります。会議もタブレットを持ってくるようになりました。そのように仕事のやり方を変えないとペーパーレスになっていきません。そのあたりは環境部局だけでなく仕事全体の見直しを行い、紙を減らす、CO2を減らすという取組を一歩でも二歩でも進めていただきたい。

他よろしいですか。

それではこれで予定していました案件は終了しましたが、その他ということで委員の皆様、何かございますか。

よろしいですか。

それでは、来年度は今年度より進んでいくことを期待しております。次回につきましては事務局と調整しながら、日程を決めていきたいと思います。それではこれもちまして平成29年度橿原市環境審議会を閉会いたします。ありがとうございました。

【事務局】

それでは最後に、事務局からお礼を含めまして、本日は限られた時間の中でご意見賜りありがとうございました。本審議会の開催時期を早め、平成 29 年度の結果は 7 月ごろに確認していただけるよう進め方を変えていきたいと考えます。また、樫原市環境総合計画もより実行力のあるものに変えていきたいと考えますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。